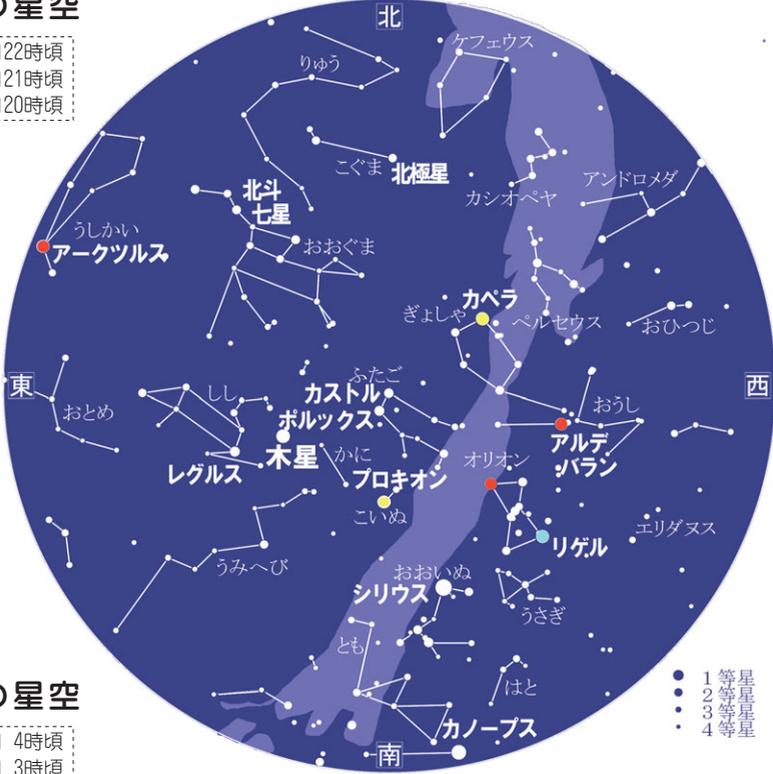




★星空ガイド 2月16日～3月15日

よいの星空

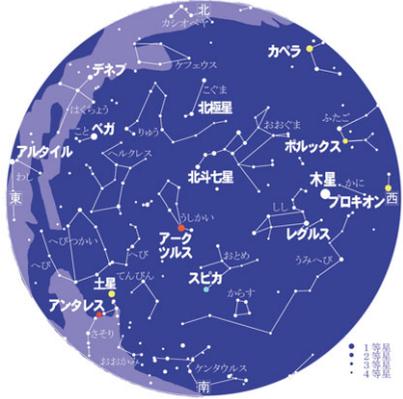
2月16日 22時頃
3月 1日 21時頃
15日 20時頃



● 1等星
● 2等星
● 3等星
● 4等星

あけの星空

2月16日 4時頃
3月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
2	16	月	6:43	17:41	4:00	14:40	26.6
	21	土	6:37	17:46	7:53	20:28	2.1
	26	木	6:31	17:50	11:30	0:43	7.1
3	1	日	6:28	17:53	14:02	3:16	10.1
	6	金	6:21	17:57	18:29	6:19	15.1
	11	水	6:15	18:01	23:02	9:08	20.1
	15	日	6:09	18:05	1:48	12:24	24.1

※惑星は2015年3月1日の位置です。

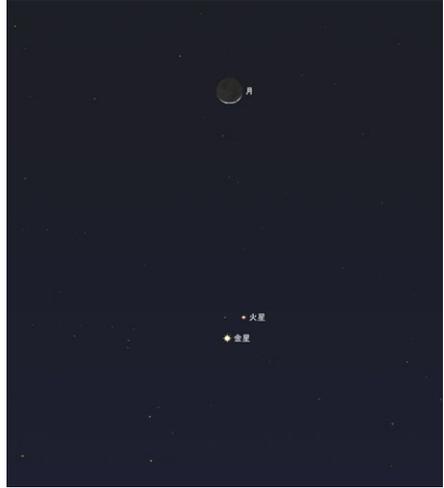
<金星と火星が接近>

昨年の年末頃から、金星が宵の明星として、夕方の空に存在感を見せてきています。2月22日には火星と金星が 0.4° まで接近します。金星は-4等級の明るさを放っていますが、一方の火星は、この時期は地球との距離が遠ざかっている時期で、1.3等ほどの明るさです。決して暗い星ということはありませんが、金星と並んでしまうと、存在感はやや低くなってしまいます。

金星の動きは火星の動きに比べて早いので、この前後数日の金星と火星の位置関係を見るだけで、金星の動きを感じることができるで

しょう。また、21日には近くに細い月も並びます。望遠レンズをお持ちの方には良いシャッターチャンスとなるでしょう。

さらに、3月に入ると、金星と火星が相次いで天王星に接近します。天王星は双眼鏡でもその存在を見つけることは可能ですが、普通の星と見た目での区別が難しいので、できれば望遠鏡が欲しいところです。3月11日の火星と天王星の接近は、低空のため観察条件はやや厳しいですが、接近距離は約 0.2° とかなり近いですから、望遠鏡を火星に向けることができれば、天王星も簡単に見つかるでしょう。



2月21日の月、金星、火星の接近。
星図はステラナビゲーターで作成

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
2	17	火	明け方東の低空で、月と水星が約 5° 離れて並ぶ
	19	木	●新月(9時) / 雨水 / 旧正月
	20	金	土星が西矩
	21	土	夕方の西の低空で、月が、金星火星と約 5° 離れて並ぶ
	22	日	夕方の西の低空で、金星と火星が約 0.4° まで接近する
	25	水	水星が西方最大離角(明け方東の空に見やすい)
	26	木	●上弦(2時) / 海王星が合

月	日	曜	主な天文現象など
3	3	火	夕方の東の空で、月と木星が約 6° 離れて並ぶ
	4	水	夕方の西の低空で金星と天王星が約 0.5° まで接近する
	6	金	○満月(3時) / 啓蟄
	11	水	夕方の西の低空で火星と天王星が約 0.2° まで接近する
	13	金	未明の東の空で月と土星が約 4.5° 離れて並ぶ
	14	土	●下弦(3時)

飯山 青海(科学館学芸員)